

これまでも
これからも

住民の声をまっすぐ市政に届けます

福祉とくらしを最優先とした市政を一緒につくりましょう

日本共産党

Japanese Communist Party



村上かずしげ

財政難を理由とした M O O のプール（ライツトネスセンター）の廃止条例案が、12月議会でも市民運動と議会の取り組みで否決されました。市民の反対の声をないがしろに、議会の多数を武器にこり押ししようとしても、それを許さなかった大きな成果です。国政でも、民主党は自公の協力を得ながら、TPPや「税と社会保障の一体改革」を進めようとしています。あちこちで国民の反撃にあっています。がんばれば政治は変えられます。

見直します 防災計画 津波ハザードマップ

マグニチュード9の地震を想定して、防災体制を見直します。とくに津波浸水地域を大幅に拡大して、高層の公住など適切な避難施設の見直しをすすめます。避難物資の確保と、避難経路、避難物資

市独自の放射能測定のために 測定機を買いなさい



市には放射線測定器が一台もありません。「購入して市独自に測定せよ」と12月議会でも質問しました。根室市は50万円の測定器を購入する予定です。市も購入するよう改めて求めます。

学校給食の放射能測定をして

私の郷里の岩手県陸前高田市は津波で大きな被害を受けました。両親も家を失い、いま一緒に暮らしています。親戚、友人にも犠牲者がでました。こうした悲劇は、絶対に繰り返してはなりません。

これからも地域の課題に 正面から取り組んでいきます。

TPPに反対し、農業後継者に対する補助金制度の創設をめざします。昭和中央土地区画整理組合について、賦課金に頼らない公平な解決をめざします。市営住宅の建て替えに当っては、必要戸数を確保し、入居者の意見を尊重します。阿寒川・舌辛川の治水対策をすすめます。昭和北・鶴野地域などの雨水管の整備に努めます。



村上かずしげ通信

201年12月・201年1月号
発行 日本共産党釧路市議団 23-5212
この通信は政務調査費で作成しています

月から木まで、新釧路川にかかる橋のたもとで朝ハンドマイク宣伝をしています。毎日ブログを更新するようにしています。ぜひ、検索サイトで、村上かずしげの独り言、あるいは村上和繁で検索してみてください。困りごとがあれば、お気軽にご相談下さい。